

## 第2期石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に 寄せられた意見と検討結果について

【パブリックコメント実施期間】 令和元年12月27日（金）から令和2年1月31日（金）まで

【担当部局】 企画経済部企画課

【意見提出者数】 3人

【意見件数】 16件

|          |                        |    |
|----------|------------------------|----|
| 【意見への対応】 | 採 用：意見に基づき原案を修正するもの    | 3件 |
|          | 一部採用：意見に基づき原案を一部修正するもの | 2件 |
|          | 不 採 用：意見を原案に反映しないもの    | 8件 |
|          | 参 考：意見を今後の事業展開の参考とするもの | 0件 |
|          | そ の 他：ご質問・ご意見として伺うもの   | 3件 |
|          | 記 載 済：既に原案に盛り込まれているもの  | 0件 |

【意見の検討経過】 2月3日～2月13日：意見の検討及び検討結果（案）の作成

2月14日：市長決裁にて最終決定

| No. | 意見の箇所等  | 意見等の主旨  | 検討結果 | 検討内容   |
|-----|---|---|------|--|
| 1   | 第1<br>基本的な考え方<br>(6) 進捗状況の共有化と効果的なPDCAサイクルの確立<br>[P3] | 3ページの下から4行目の「産学金労言」が何を示すかわかりません。この後にも出てくるので、このページで説明をしていたらと助かります。           | 採用   | 何を示すのかわからないというご意見を踏まえ、「産学金労言」の説明を追記いたします。<br><br>≪①総合戦略の策定(Plan)の4行目≫<br>【修正前】産学金労言と住民組織関係者により…<br>【修正後】産学金労言(産業界、学識経験者、金融機関、労働団体、メディアの関係者)と住民組織関係者により…  |
| 2   | 第1<br>基本的な考え方<br>用語解説<br>[P4~5]                       | 用語解説の文字の羅列では、理解、納得がいきません。SDGsの目標の概念を無理やり総合戦略に当てはめているような気がします。               | その他  | 持続可能な開発目標(SDGs)は、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を期限とする先進国を含む国際社会全体の17の国際目標で、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指して、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むものであります。<br>本市は、人口減少の緩和と地域経済発展性の向上、将来にわたって持続性の高い地域社会の構築を目指すため、本戦略に基づき取組を展開するものであり、SDGsにおける理念の一部を共有しています。このことから、本戦略とSDGsの繋がりを視覚的に表現し、事業に取り組む意志を表しています。 |
| 3   | 第2<br>戦略目標と具体的な施策<br>[P6]                             | 6ページに「絆・環境・創造」という3つの言葉をあげていますが、「環境」はその中に含まれる項目を見ると合わないと思います。「価値」の方が良いと思います。 | 不採用  | 本戦略は、第5期石狩市総合計画の中期的な戦略計画として位置付けられており、総合計画では目指すまちの姿(将来像)を「創造」「絆」「環境」の3つで表現していることから、整合性を図っています。「環境」については、優れた資源を有効に活用し、市民の暮らし・学び、産業、低炭素などの豊かなライフスタイルや多様性を支える環境があるまちを目指すことを表しています。   |

| No. | 意見の箇所等   | 意見等の主旨   | 検討結果 | 検討内容  |
|-----|--|--|------|---|
| 4   | 戦略目標1<br>「新現役世代」が活躍する<br>[P7]                              | 高齢者世代はPRIDEを持って石狩に生き、それなりに活動してきました。それをやんわり否定されているような気がしません。  | その他  | 2015年現在の人口構成比は、老年人口割合は30%、生産年齢人口割合は57%でしたが、2060年推計値では老年人口割合が52%（+22%）、生産年齢人口割合は40%（-17%）であり、将来の人口構成比に大きな変化が生じることが推計されています。<br>高齢化が進行する中においても、知識や技能、経験を有し、現役世代のように活躍されている新現役世代が、地域の中核として地域活動に関わり、人と人との絆を深めながら活動の輪を広げ、多くの方が自分らしく活躍されることによって、他世代の原動力にもなり、まちの活性化につながるものと考えています。 |
| 5   | 戦略目標3<br>「地域資源」からモノやしごとを創る<br>(1) 地域資源を活用した新産業の創出<br>[P13] | 13ページの「3 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）」、(1)の一番下の行に「・地元の高齢農家や新規就農者への拡大」とありますが、「何を」拡大するのかよくわかりません。評価指標や下から2行目に「・漢方生薬生産体制確立事業」とあるので「漢方生薬栽培」らしいことは想像できますが、本文からはよくわかりませんでした。 | 採用   | 何を指しているのかわからないというご意見を踏まえ、下記のとおり「漢方生薬栽培」を追記いたします。<br><br>《具体的な事業》<br>【修正前】・地元の高齢農家や新規就農者への拡大検討<br>【修正後】・地元の高齢農家や新規就農者への漢方生薬栽培の拡大検討   |
| 6   | 戦略目標3<br>「地域資源」からモノやしごとを創る<br>(2) 地場産品の知名度向上<br>[P14]      | 14ページの一番下の項目、「豊富な地場農水産物と…」のところ。全体を読むと水産業のことは書かれていないので、「豊富な地場農産物と…」とした方が良いと思いました。しかし、水産業のことも含めて欲しいので、「豊富な地場農水産物と石狩の農業と漁業への…」にし、何か水産関連の推進事業を記載していただけないでしょうか。     | 一部採用 | ご指摘いただいた項目については、農産物について掲載しておりますので、ご意見のとおり「地場農産物」に修正いたします。<br>なお、水産物についての具体的な施策・事業は15ページ上から1つ目及び2つ目に掲載しております。<br><br>《具体的な施策・事業》<br>【修正前】豊富な地場農水産物と石狩の農業者…<br>【修正後】豊富な地場農産物と石狩の農業者…  |
| 7   | 戦略目標3<br>「地域資源」からモノやしごとを創る<br>(2) 地場産品の知名度向上<br>[P15]      | 15ページの一番上の項目、4行目の続きとして、「石狩湾の海洋環境の保護・保全、特に沿岸部、さらに石狩湾に流入する河川の環境保全を推進し、幼稚魚の生育環境を守る。」を追加してほしいです。   | 不採用  | この項目は地場産品の知名度向上であり、それに関連する具体的な魚種等の内容ではないことから、環境保全に関する施策を実施する際のご意見として承ります。   |

| No. | 意見の箇所等  | 意見等の主旨  | 検討結果 | 検討内容  |
|-----|---|---|------|---|
| 8   | 戦略目標3<br>「地域資源」からモノやしごとを創る<br>(4) 地域資源を活かした地域経済循環の推進<br>[P15]       | 市有林間伐促進プロジェクトの作品上映会(2020年1月30日)での作品は、間伐は市有林ですが、森の象徴としてのイチイ(オンコ)の木は国定公園の中の国有林にあるので、作者には申し訳ないのですが、納得がいきません。映像はとてもきれいでした。パンフレットやチラシの表現についても、もう少し石狩の自然に詳しい人の意見を参考にしたらよいと思います。   | 不採用  | 一事業に対する意見として承ります。   |
| 9   | 戦略目標3<br>「地域資源」からモノやしごとを創る<br>(6) エネルギー関連産業を核とした新たな産業空間の形成<br>[P16] | 16ページの「(6) エネルギー関連産業を核とした新たな産業空間の形成」のところ。1~2行目に「洋上風力発電事業をはじめとした再生可能エネルギー発電の集積をきっかけとし、」とあります。石狩湾新港洋上風力発電事業(8,000kW・14基、海岸からの距離概ね2km)は、超大型風車なので超低周波音・低周波音が発生し影響が遠くへ及びます(石狩市を飛び越え、札幌市手稲区・北区までもという予測あり)。超低周波音・低周波音に過敏な方は健康影響が出るので新港工業団地では働くことはできません。ヨーロッパの洋上風力発電は、健康影響と景観への配慮から、数十km沖に建設されており、平均50kmです。日本で計画されている洋上風力発電事業は、皆、健康影響と景観への配慮が全くされていません。海洋生態系への影響も十分調査されておらず、漁業への影響もわかっていません。そのような状況で、安易に洋上風力発電事業を行なってよいのでしょうか。また、風力発電事業が集積すればするほど、新港工業団地の就労環境は悪化します。慎重な検討を望みます。 | 不採用  | 事業の実施にあたっては、環境影響評価法に基づく環境影響評価手続きが行われ、環境に配慮し法に適合された事業が進められていくものと考えております。   |
| 10  | 戦略目標3<br>「地域資源」からモノやしごとを創る<br>(6) エネルギー関連産業を核とした新たな産業空間の形成<br>[P16] | 洋上風力発電事業は、石狩湾の貴重な資源(景観、水産業)に重大な負の影響を与え、さらに沿岸住民に低周波音による健康被害をもたらす恐れがあるので、推進されるべきではない。   | 不採用  | 国は海洋再生可能エネルギー発電事業の長期的、安定的かつ効率的な実施の重要性を推進しており、その事業実施にあたっては、環境影響評価法に基づく環境影響評価手続き等により環境に十分配慮し適合された事業になるものと考えております。 |

| No. | 意見の箇所等  | 意見等の主旨  | 検討結果 | 検討内容  |
|-----|---|---|------|---|
| 11  | <p>戦略目標3<br/>「地域資源」からモノやしごとを創る<br/>(6) エネルギー関連産業を核とした新たな産業空間の形成<br/>[P16]</p> | <p>「洋上風力発電事業をはじめとした再生可能エネルギー発電の集積…」とあり、まるで洋上風車の建設を前提としているかのように読み取れますが、洋上風車の建設の前提として、漁業に対する影響や自然環境に対する負荷を常に考えていかねばならないと思います。</p> <p>「第3回あつたふるさとの森取組方針検討会（平成25年8月29日）」の議事録によると、漁組の方から「望来風車の近辺では、以前にはニシンが獲れたが今はあまり獲れない」と発言がありました。海岸近くに風車を建てたため、ニシンが産卵に来られないということは、漁業にとって大変重大なことではありませんか？その原因は、地面を伝わる振動が海底に伝わり、海底の振動が海水に伝わるのか、と素人の私は考えるのですが、いかがですか？</p> <p>巨大な風車からの低周波音・超低周波音は健康に良くないと言われ、睡眠障害等の病気の原因となり得ると思います。人口減が言われる中、石狩から人が離れる要因となることを心配しています。</p> <p>2018年9月6日北海道胆振東部地震でのブラックアウト後、電気が回復し、20%の節電要請があった際、エコパワー社の風車2基のうち1基しか回転していなかったのは、まるで20%の節電を守っているかのような稼働状況であり、発電事業者が一般の事業者と同じような状態で、『災害時に再エネは役に立つ』と言われていましたが、全く役に立ちませんでした。</p> <p>個人で設置した太陽光発電についても、何人かに聞いたところ、携帯電話と照明に使ったという人が1人いたが、そのほかは直流を交流に切り替えるのに電気が必要で停電中は使えなかったそうです。石狩市は、太陽光発電に補助金を出していたこともあり、補助金を出した人に問合せて、停電時に役立ったお話等を集めてはいかがでしょうか？もう少し確かなデータができると思います。</p> <p>また、再エネ由来水素、水素製造、水素関連産業など、水素活用の記載がありますが、水素貯蔵タンクの爆発のニュースは、私たちの耳に入ってきています。2017年11月30日苫前では風車から水素を作る実証試験中に爆発し、また、2019年2月山形県の上国市の山形バイオマスエネルギーでは、木質バイオマスの発電の試験運転中に水素タンクが爆発しており、試験段階の技術が確立していないものに補助金目当てで飛びつくようなことは止めてください。水素爆発はごめんです。</p> <p>今後5年間の総合戦略の再エネ政策を考える時に、安全・安心をモットーにしてください。不確実な技術、不確実な調査をそのままにした開発は止めてください。洋上風車を目標とするまちにしないでください。</p> | 不採用  | <p>洋上風車の建設を目標としているものではなく、再生可能エネルギーを活用した産業振興や民間企業の活力を用いた地域の活性化など、地域の新たな価値を創出し、地域の魅力を向上させる取組を行うものです。</p> <p>なお、洋上風力発電事業にあたっては再エネ海域利用法に基づき漁業への影響の検討を行うとともに、環境影響評価法に基づく環境影響評価手続きにより環境に配慮し適合された事業が進められていくものと考えております。</p> |

| No. | 意見の箇所等   | 意見等の主旨   | 検討結果 | 検討内容  |
|-----|--|--|------|---|
| 12  | <p>戦略目標4<br/>「いろんな顔」をつくる<br/>(1) 観光資源を活かした交流人口の誘導<br/>[P17]</p>      | <p>17ページの「3 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)」の「(1) 観光資源を活かした交流人口の誘導」のところ。2～4行目に、「安全安心、・・快適をキーワードとする「石狩の海辺の魅力」を創造し、誘客を図る。」とあります。この海辺が「石狩浜海水浴場あそび一ち」を指しているとしたら、この表現はあてはまりません。石狩湾新港洋上風力発電事業 (8,000kW・14基) の超大型風車 (高さ約200m、ブレード直径約170m) が建設され、稼働すれば、超低周波音・低周波音が広範囲に及びますので、敏感な方は頭痛・めまい・吐き気等の健康影響が発生します。景観上も問題で、札幌テレビ塔の1.5倍の高さの無機質な構造物が立ち並び、巨大な羽根がぐるぐる回転する光景は、果たして、海辺の自然を求めて来たお客さんにとって魅力的に映るでしょうか。ドイツでは、特に景観に配慮して8,000kW風車は海岸から100km沖に建設しています (陸から見えないように)。</p> | 不採用  | <p>「海辺」については、市内の海水浴場や海岸周辺の地域、観光施設等を指すものです。<br/>なお、風車の建設にあたっては、環境影響評価法に基づく環境影響評価手続きを行っており、環境に配慮し法に適合された事業になるものと考えております。</p>                                    |
| 13  | <p>戦略目標4<br/>「いろんな顔」をつくる<br/>(3) 農山漁村交流を軸とする地域の魅力発信<br/>[P18]</p>    | <p>18ページの「(3) 農山漁村交流を軸とする地域の魅力発信」の1行目、「昔ながらの田園風景を維持、活用しながら、…」とあります。厚田区の美しい田園風景は守っていききたいものです。最近、厚田区・浜益区では、小型風力発電機や太陽光パネルの設置が増え、景観的に残念な光景が増えてきています。守りたい景観エリアを景観保護区に指定する、あるいは景観保全条例を制定するなどして守っていく必要性を感じます。(具体的な事業)として、景観保護区の設定 (あるいは景観保全エリアの設定/景観保全条例の制定) を追加したいです。</p>   | 不採用  | <p>この項目は農山漁村交流を軸とする地域の魅力発信であり、それに伴う空間づくりを行い、関係人口の創出・拡大を図ることから、各種制限等に関する場合は、環境保全に関する施策を実施する際のご意見として承ります。</p>   |
| 14  | <p>戦略目標5<br/>誇りとなる「人や文化」を育てる<br/>(4) 幅広い人材登用による地域活力の創出<br/>[P22]</p> | <p>22ページの「(4) 幅広い人材登用による地域活力の創出」、下の項目の(具体的な事業)、「集落支援員制度」について説明がほしいです。</p>  | 採用   | <p>ご意見を踏まえ、「集落支援員」についての説明を追記いたします。</p> <p>《具体的な事業》<br/>※ 集落支援員…地方公共団体の委嘱を受けて、集落点検の実施、集落のあり方に関する住民同士・住民と地方公共団体の話し合いに従事する者を集落支援員とし、地方公共団体が地域の実情に応じて設置できるもの。</p> |

| No. | 意見の箇所等  | 意見等の主旨  | 検討結果 | 検討内容   |
|-----|---|---|------|--|
| 15  | 戦略目標5<br>誇りとなる「人や文化」を育てる<br>(6) 鮭の歴史文化の醸成による観光産業の活性化<br>[P23] | 人や文化を育てる上で、鮭だけではなく、広く石狩の自然・歴史文化遺産を体系的に整理して、各地点の案内掲示板やマップを作り、合わせて「いしかり砂丘の風資料館」や「石狩海浜植物保護センター」などを拡充し、それぞれの展示物の充実を図るべきである。   | その他  | 今後の観光産業の活性化を検討する際のご意見として承ります。  |
| 16  | 戦略目標5<br>誇りとなる「人や文化」を育てる<br>[P20~23]                          | 20ページ「戦略目標5 誇りとなる「人や文化」を育てる」について、プロジェクトM「石狩遺産」の活用を取り上げてほしいと思います。文化財課の砂丘の風資料館が事務局を担当しています。市民団体プロジェクトMが、毎年、「市民が推薦し、市民が選び、市民が活用育てていく」をコンセプトに「石狩遺産」を3件ずつ選定しています。今までに、石狩川河口地域における鮭漁の歴史遺産群、紅葉山砂丘、ニシン文化を伝える厚田本村、石狩海岸、防風林群、石狩油田、北前船等、9件が選定されています。もっと石狩市民全体に知られ、活用され親しまれてほしいものばかりです。 | 一部採用 | ご意見を踏まえて、広く歴史遺産を活用するよう23ページの項目「(6) 鮭の歴史文化の醸成による観光産業の活性化」を次のように修正いたします。<br><br>≪項目≫<br>【修正前】(6) 鮭の歴史文化の醸成による観光産業の活性化<br>【修正後】(6) 歴史文化の醸成による観光産業の活性化<br>≪具体的な施策・事業≫ 4行目<br>【修正前】石狩市民が誇るアイデンティティを醸成し、鮭を中心とした観光産業の活性化を図る。<br>【修正後】石狩市民が誇るアイデンティティを醸成し、鮭などを活用した観光産業の活性化を図る。<br>≪具体的な事業≫<br>【追加】・日本遺産などの活用 |